

OSU共用に対する課題		課題の有無		
論点	当社の考え方	GC類似	ファイバシェアリング	波長重畳
①	通信速度等のサービスレベルが低下 ・サービス選択の決め手は通信速度 ・現在のBフレッツ(ベストエフォート)の速度は60~80Mb/sだが、共用すれば30Mb/sになる可能性	有	有	無
②	帯域確保サービスの実現が困難に ・当社の帯域制御サーバでは、他社ユーザが利用中の帯域を管理できない。 ・サーバで認識している空き帯域と実態に差異が生じ、その芯線を利用中のお客様全員の帯域が確保できなくなる。	無 (GWルータでの接続によりSIP連携をした場合)	有	無
③	ヘビーユーザの収容替え等 ・OSUを共用した場合、ヘビーユーザの特定・収容替え等の折衝に時間を要し、サービス品質低下状態が長期化する。	有	有	無
④	故障対応等のサービスレベルが低下 ・故障対応等に時間を要する。障害時に早急な回復が必要なひかり電話等については、致命的なお客様サービスレベルの低下となる。	有	有	有
⑤	共通の運用ルール策定は困難 ・品質確保に向けた運用方法、新サービス提供時の設備更改・変更に係る事業者間の取り決め等については、サービス提供の根幹であり、異なるサービスポリシーを持つ事業者間で共通の運用ルールを定めることは困難。	有	有	無
⑥	分岐方式は6年間で4回の変更 ・分岐方式は、提供開始後6年間で、都合4回にも及ぶ変更を行っている。現時点の装置や分岐数を固定的に捉えOSU等を共用することは速度アップや新サービスの提供が困難となりお客様利便の向上に支障が生じる。	有	有	無 (分岐方式の変更は影響有)
⑦	新サービスのタイムリーな提供に支障 ・新サービスの提供に必要なOSUの変更等について、関係事業者間で調整が必要となるが、調整に時間を要するなどして、ユーザへのタイムリーな新サービス提供に支障が生じる。			

接続事業者からの提案内容に対するOSU共用の課題の有無について

OSU共用に対する課題		課題の有無		
論点	当社の考え方	GC類似	ファイバシェアリング	波長重畳
⑧	追加コストが発生	有	有	有
⑨	サービスの均質化	有	有	無
⑩	設備競争の阻害	有	有	有 (光ファイバ等の接続料の水準により、設備競争を阻害する可能性あり)
⑪	経営・営業判断の問題	有	有	有

接続事業者からの提案内容に対するOSU共用の課題の有無について

OSU共用に対する課題		課題の有無		
論点	当社の考え方	GC類似	ファイバ シェアリング	波長重畳
その他 デジタルデバイド解消等	<ul style="list-style-type: none"> ・電力系事業者やCATV事業者は、設備投資のインセンティブを失えば、インフラ整備を断念せざるを得ず、ひいては地方のブロードバンド化の進展を阻害することになると懸念。 	有	有	有
⑫ その他 NGNの利活用促進 ルータへの振分機能の実装等	<ul style="list-style-type: none"> ・OSU等の装置を共用することは、サービス品質の確保や新サービスを提供する上で支障が生じる等、お客様利便を損なう懸念があることから、実施すべきでない。 ・機能開発も実施は考えていない。 	有	有	有 (局内WDMスプリッタやオペレーションシステムの開発・導入が必要)